

川と向き合い、川とともに育ち、 「住みたい」を大切に作る常総

～復興計画の指針となる復興ビジョンが完成～

当市は、昨年9月の関東・東北豪雨により市域の3分の1が浸水し、生活基盤や地域の産業基盤に甚大な被害を受けました。かつて経験のない災害からの復旧と復興を目指し、市では27年度中に復興計画を策定します。

このほど、学識経験者や市民の関係行政機関の職員などが構成員となっている復興ビジョン懇話会からの提言を受け、復興計画

の指針となる復興ビジョンがまとまりました。ビジョンでは、復興に向けた基本的な考え方として「川と向き合い、川とともに育ち、『住みたい』を大切に作る常総」を基本理念としました。

今後、このビジョンを基礎に、被災者の生活再建や産業・経済の再建、防災のまちづくりなどを進めていくための復興計画を策定していきます。

復興ビジョンは 市の将来像

復興計画を策定するにあたっては、水害前よりも魅力ある当市を再生・創造し未来の姿を明確にするため、その指針となる復興ビジョンを策定しました。

このビジョンは、市の一日も早い復興に向け「市民が共有したい、市のより良い将来像・目標（ビジョン）」を表したもので、その将来像の実現に向けて行動を起こす上での前提となるものです。このビジョンを基礎に目標実現のための各種事業などの行動計画部分を検討し、最終的に復興計画とします。

復興計画対象地域は 市内全域

今回の水害では、水海道地区をはじめ三妻地区、五箇地区、大生地区、石下地区、豊田地区、玉地区など鬼怒川以東のほぼ全域が被災したほか、鬼怒川以西の岡田地区の一部も被災しました。この地域を今後も安心して住み続けられる災害に強い安全なまちに甦らせるとともに、市全体が今まで以上に豊かな生活が営めるまちとして飛躍するためには、全市域として復興に取り組む必要があります。このようなことから、復興ビジョンでは、復興計画の対象地域は市内全域としました。

復興計画の期間は、28～32年度の5か年で、復旧・生活再建支援・復興を同時進行で進めていきます。また、復興計画の内容をまち・ひと・しごと創生総合戦略や、30年度からスタートする次期総合計画へ反映させていきます。

基本理念と 4つの目指す姿を設定

ビジョンでは、復興の基本的な考え方として「川と向き合い、川とともに育ち、『住みたい』を大切に作る常総」を基本理念としました。そして、これを支える柱として「きもち」「くらし」「まもり」「ほこり」の4つを掲げました。これらの柱にはそれぞれに重点施策が定められ、今後これに沿って、より具体性を持った復興計画が策定されます。これらの4つの柱の目指す姿が達成され、融合して一体となった姿が、私たち市民が目指す5年後の市の理想像となります。

4つの柱

「きもち」の柱 ～「住みたい」を大切に作る～

- ①住み続けたい、に配慮する
復旧・生活再建・住まいの再建の支援
- ②戻りたい、住んでみたいを実現する
復旧・生活再建・住まいの再建の支援
- ③ともに生き、絆を強める
市民の多様性を活かした互助と協働
- ④力を合わせる
自治組織、ボランティア、NPO、企業、大学などの英知を活かす
- ⑤みらいにつなげる
無償の貢献に感謝し、精神を継承する
若い声を活かした常総づくり

「まもり」の柱 ～みんなで災害に備える～

- ①丈夫なふるさとの基盤づくり
ハード対策（施設整備）の推進
- ②安全でスマートな空間づくり
土地利用の効率・適正化
- ③日頃から減災のための人づくり
ソフト防災の定着・充実（防災教育やリスク理解）
- ④地域で助け合うコミュニティづくり
コミュニティの醸成と共助
- ⑤市を越え支え合う連携づくり
広域・民間連携による災害対応
水害サミットへの加入と連携

「くらし」の柱 ～川とともに暮らす～

- ①潤いのある市民生活を取り戻す
大学や専門機関との連携
- ②まちを学び、川に学ぶ
常総の歴史や河川・水資源の教育
- ③水辺の安心と魅力を高める
環境・景観や用水・排水系統の整備
- ④川を楽しみ、健康で幸せになる
スポーツ・コンテンツ（水辺ウォーキングやカヌーなどのアクティビティ）
大学などとの連携
- ⑤水害経験を資源に転じる
治水先進地のブランド化

「ほこり」の柱

～新拠点（常総インターチェンジ周辺）を形成し、農商工復興を推進する～

- ①常総インターチェンジ周辺の食農・防災拠点づくり
平常時は活性化拠点、緊急時は避難拠点
- ②農業を再建し、振興する
激甚災害（本激）指定による特例措置を活かした復旧と強化
- ③商工業を再建し、振興する
激甚災害（局救）指定による特例措置を活かした復旧と強化
- ④農商工連携と世界展開を支援する
ベンチャー支援と人材育成
- ⑤若者・後継者のネットワークづくりを支援する
成田空港（約1時間）から世界へ